

つなぐ

Vol.18

2017.9月

直径6・7ミリ、長さ25・9ミリ、重さ1・75グラム。当院で9月より導入されたリードレスペースメーカーのことである。

従来の皮下に植え込むものではなく、カテーテルを用いて心臓内に送り込み、直接心室に留置できる。それにより皮下ポケットもリードも不要になり、それらに関連した合併症のおそれがない。また、胸部の傷がなく、外見の膨らみもないため、装置を意識せず生活できる。オペ時間は、約30分で終わる。

ペースメーカーの歴史は、1790年代にイタリアで動物組織には電気性があることが発見され始まった。体外よりペースメーカー刺激を与えた時代、リードのみを体内に入れていた時代、ペースメーカー本体が体内へ植え込まれる時代を経て、現在のリードのないカプセル型までに至った。

たった二つの医療を最善のものにするため、先人達が200年以上をかけ様々な課題と戦い続け、後世へとつないできたのだ。この大きな遺産は、小さなタイムカプセルに埋め込まれて、今ようやく登場した。